



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月14日

上場会社名 バリュエンスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9270 URL <https://www.valuence.inc/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寄本 晋輔
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 慎一郎 (TEL) 03-4580-9983
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	37,412	48.2	455	—	258	—	460	—
2020年8月期第3四半期	25,242	△8.3	△315	—	△368	—	△585	—

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 489百万円(—%) 2020年8月期第3四半期 △581百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	34.83	34.56
2020年8月期第3四半期	△45.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	18,989	7,114	36.9
2020年8月期	15,378	6,735	43.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 7,010百万円 2020年8月期 6,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想については、本日(2021年7月14日)付にて公表いたしました「法人税等調整額(益)の計上並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,700	38.9	1,000	58.4	800	28.6	750	145.4	56.73

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想については、本日(2021年7月14日)付にて公表いたしました「法人税等調整額(益)の計上並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期3Q	13,317,880株	2020年8月期	13,183,160株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	67,524株	2020年8月期	49,590株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期3Q	13,208,954株	2020年8月期3Q	12,947,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料4ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現在2025年8月期を最終年度とする中期経営計画「VG1000」の達成に向けた取組を推進しております。世界中のパートナー（オークションにおける取引先リユース事業者。以下同じ。）の仕入から販売までをワンストップで支援するラグジュアリー品に特化した「Global Reuse Platformer」となり、リカーリング型ビジネスへの転換を図ることで、持続的な成長の実現を目指しております。

この成長戦略を実現するため今期は集中的に先行投資を実施する年と位置付けており、広告宣伝費をはじめ人件費や、システム保守・開発関連の費用等を増加させる計画です。この計画に基づき取組みを進めた結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

なお、当第3四半期連結会計期間に株式会社NEO-STANDARDをバリュエンスジャパン株式会社が吸収合併したこと等により繰延税金資産が増加し、法人税等調整額△510百万円を計上したため、経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益の差が大きくなっております。

売上高	37,412百万円	(前年同期比48.2%増)
営業利益	455百万円	(前年同期の営業損失は315百万円)
経常利益	258百万円	(前年同期の経常損失は368百万円)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	460百万円	(前年同期の親会社株主に帰属する 四半期純損失は585百万円)

当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

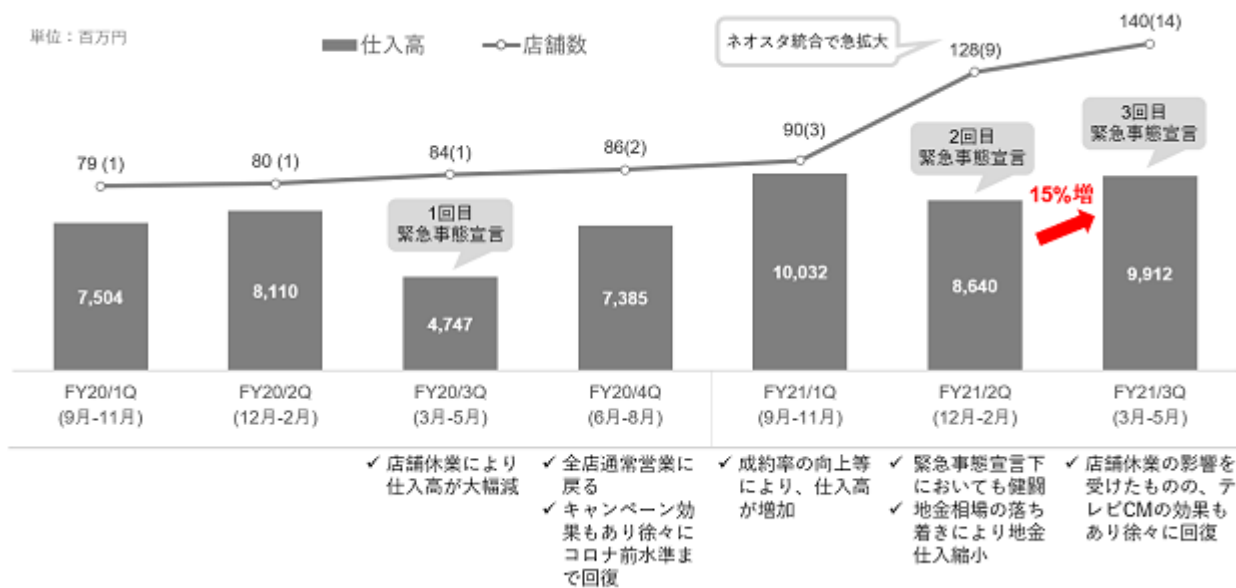
当第3四半期連結累計期間における具体的な取組は以下のとおりです。

まず、仕入を拡充する施策として、国内では15店舗の新規出店と1店舗の退店を、海外では12店舗の新規出店を実施いたしました。海外についてはスピード感を持った店舗展開のため直営に加えて現地企業との協業も進めており、12店舗の内訳としては、直営5店舗、協業7店舗となっております。また、M&Aにより取得した買取店舗「ネオスタ」28店舗を2020年12月から「なんぼや」にブランド統一しており、仕入の強化に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末における買取店舗数は、前連結会計年度末と比較してグループ全体で54店舗純増し、140店舗となりました。

買取面におきましては、第1四半期連結会計期間は接客数・仕入高ともに順調に推移していたものの、度重なる緊急事態宣言の発令及び長期化により、買取環境としては厳しい状況が続きました。「なんぼや」のブランド認知の向上とゴールデンウィークにおける集客拡大を目的とし、4月9日より全国の店舗展開地域において1ヶ月間のCM放映をスタートしましたが、3回目の緊急事態宣言が4月25日に発令され最大で19店舗の買取店舗が休業となりました。しかし、同様に緊急事態宣言が発令されていた前期の第3四半期連結会計期間と比較すると仕入は大きく伸ばせており、緊急事態宣言の影響のない当期の第1四半期連結会計期間並みの仕入を確保することができました。

仕入高・店舗数の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[仕入高・店舗数]



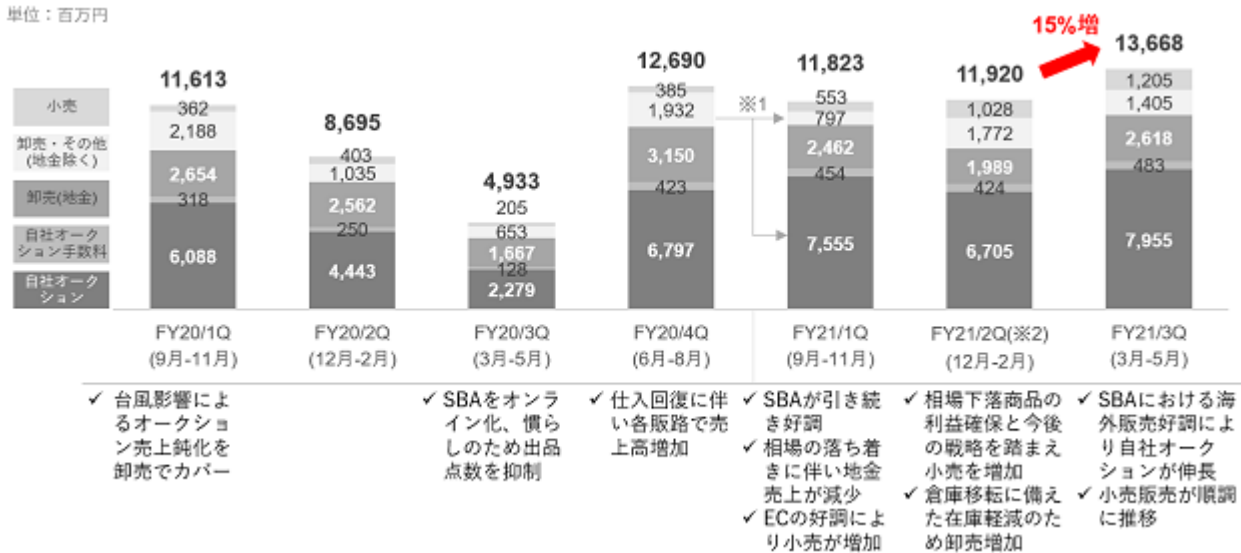
※店舗数のうち () は海外店舗数。

販売面におきましては、緊急事態宣言下においても仕入を確保できたことや、第2四半期連結会計期間では開催できなかった香港におけるダイヤモンドオークションを4月に1回実施したことから、当第3四半期連結会計期間においてはオークション販売が拡大いたしました。なお、香港オークションは本大会よりオンラインに移行しており、これをもって当社グループの運営するオークションはすべてがオンライン開催となりました。また、今後のフルフィルメントサービス展開に向け、引き続き小売ブランド「ALLU」の強化を図っており、小売販売は順調な推移となりました。第2四半期連結会計期間においては時計の相場変動の影響による売上総利益率の一時的な悪化がありました。2月以降は売上総利益率は回復しており、当第3四半期連結会計期間においては直前四半期から3.8ポイント改善の27.5%となりました。

売上高 (toB・toC) の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[売上高 (toB・toC)]

単位：百万円

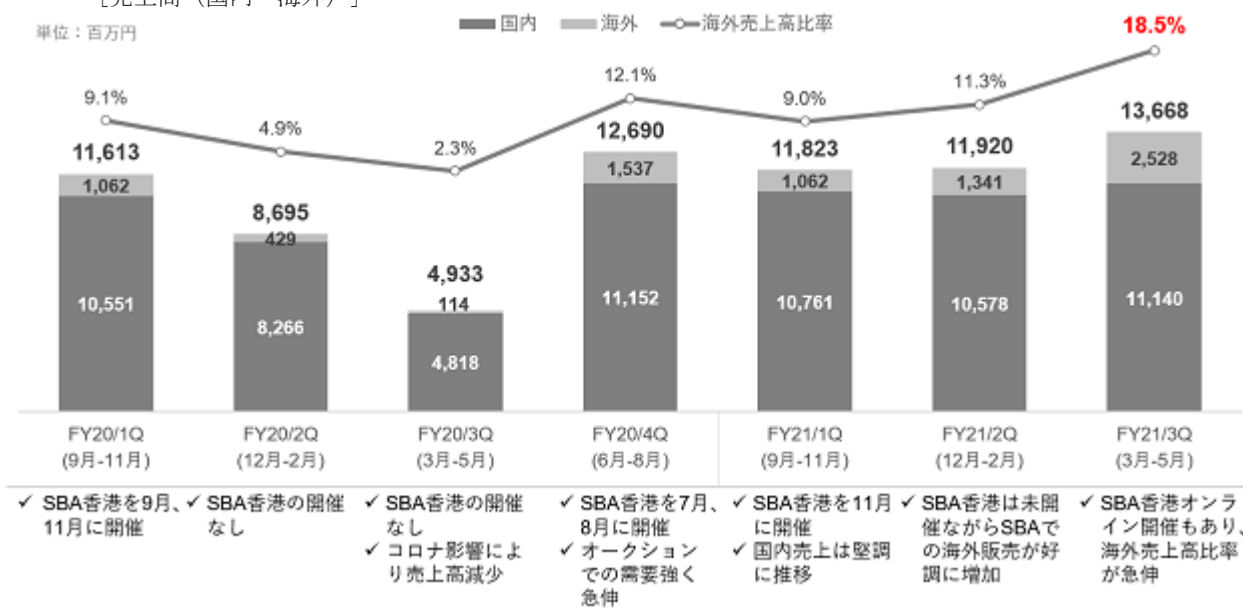


当社の主力チャネルである業者向けオークション「STAR BUYERS AUCTION (スターバイヤーズオークション、以下SBAという。)」におきましては、順調にパートナー会員数を伸ばしており、登録者数は前連結会計年度末の602社(国内467社/海外135社)から641社増加し1,243社(国内823社/海外420社)となりました。海外パートナー数の順調な拡大に加え、第2四半期連結会計期間の終盤からは為替相場の円安傾向もあり、SBAにおける海外からの落札額が拡大しております。当第3四半期連結会計期間においては上述のとおり香港オークションを開催したこともあり、海外売上高比率は全体の18.5%となりました。

売上高 (国内・海外) の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[売上高 (国内・海外)]

単位：百万円



(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、運転資金及び仕入資金確保のための現金及び預金の増加1,084百万円や、販売好調により前連結会計年度末時点で縮小していた在庫が順調に積み上がったことによる商品の増加959百万円があったこと等により、前連結会計年度末に比べて2,557百万円増加し、13,817百万円となりました。固定資産は、新規出店及びM&Aによる買取店舗の増加、並びに倉庫移転実施に伴う建物及び構築物（純額）の増加298百万円、繰延税金資産の増加505百万円を主な要因とした投資その他の資産の増加557百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,053百万円増加し、5,172百万円となりました。これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ3,610百万円増加し、18,989百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、仕入増加等の事業拡大のための短期借入金の増加2,708百万円や、賞与引当金の増加184百万円があったこと等により、前連結会計年度末に比べ3,112百万円増加し、10,758百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少100百万円があった一方で、資産除去債務の増加84百万円があったこと等により、前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、1,116百万円となりました。これらの結果、負債額は前連結会計年度末に比べ3,232百万円増加し、11,875百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産額は、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加それぞれ25百万円や、利益剰余金の増加179百万円があったこと等により前連結会計年度末に比べて378百万円増加し、7,114百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び最近の動向を踏まえ、2020年10月15日に公表した予想を修正いたしました。

詳細につきましては本日（2021年7月14日）公表の「法人税等調整額（益）の計上並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,276,732	7,361,427
売掛金	298,141	390,228
商品	4,011,028	4,970,472
その他	849,157	1,226,154
貸倒引当金	△175,039	△131,195
流動資産合計	11,260,021	13,817,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,657,504	1,955,686
その他(純額)	342,167	423,587
有形固定資産合計	1,999,671	2,379,273
無形固定資産		
のれん	219,406	109,489
その他	253,750	480,212
無形固定資産合計	473,157	589,701
投資その他の資産		
差入保証金	1,137,651	1,154,872
その他	509,039	1,049,773
貸倒引当金	△810	△1,190
投資その他の資産合計	1,645,880	2,203,456
固定資産合計	4,118,709	5,172,431
資産合計	15,378,731	18,989,520

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,328	99,909
短期借入金	6,343,288	9,051,642
1年内返済予定の長期借入金	231,242	152,866
未払法人税等	253,259	208,508
賞与引当金	203,916	388,309
資産除去債務	1,699	—
その他	577,224	857,696
流動負債合計	7,645,959	10,758,931
固定負債		
長期借入金	340,868	239,928
役員退職慰労引当金	66,400	63,761
資産除去債務	580,214	665,092
その他	9,385	147,296
固定負債合計	996,867	1,116,078
負債合計	8,642,827	11,875,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,117,032	1,142,730
資本剰余金	1,104,809	1,130,508
利益剰余金	4,581,888	4,761,472
自己株式	△59,830	△46,179
株主資本合計	6,743,900	6,988,531
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,995	21,552
その他の包括利益累計額合計	△7,995	21,552
新株予約権	—	104,426
純資産合計	6,735,904	7,114,510
負債純資産合計	15,378,731	18,989,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	25,242,427	37,412,186
売上原価	19,198,390	27,714,879
売上総利益	6,044,036	9,697,306
販売費及び一般管理費	6,359,717	9,241,530
営業利益又は営業損失(△)	△315,681	455,776
営業外収益		
受取利息	59	254
業務受託料	3,675	—
受取給付金	—	10,846
受取賃貸料	6,463	—
その他	9,521	18,487
営業外収益合計	19,719	29,588
営業外費用		
支払利息	26,763	32,429
支払手数料	1,220	147,433
為替差損	8,526	11,208
株式報酬費用消滅損	28,132	16,232
その他	7,479	19,746
営業外費用合計	72,122	227,050
経常利益又は経常損失(△)	△368,083	258,315
特別利益		
負ののれん発生益	—	69,486
特別利益合計	—	69,486
特別損失		
減損損失	20,530	39,170
事務所移転費用	—	9,263
賃貸借契約解約損	—	7,365
特別損失合計	20,530	55,799
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△388,614	272,002
法人税、住民税及び事業税	225,762	322,707
法人税等調整額	△28,523	△510,752
法人税等合計	197,239	△188,044
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△585,853	460,047
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△585,853	460,047

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△585,853	460,047
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,580	29,548
その他の包括利益合計	4,580	29,548
四半期包括利益	△581,272	489,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△581,272	489,595

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間末より、当社の連結子会社であるバリュエンスジャパン株式会社が株式会社NEO-STANDARDの株式を取得したことにより、新たに同社を連結の範囲に含めております。

加えて、第2四半期連結会計期間末より、新たに設立したValuence International UK Limited及びValuence International Shanghai Co., Ltd.を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間末より、新たに設立したバリュエンスベンチャーズ株式会社を連結の範囲に含めております。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、株式会社NEO-STANDARDは、バリュエンスジャパン株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅し、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りに関して、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(株式の取得による持分法適用関連会社化について)

当社は、2021年7月14日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社南葛SCが実施する第三者割当増資に応じ、普通株式の取得(出資)を行うことを決議いたしました。株式取得後の当社の出資比率は33.5%となります。なお、本株式取得により、株式会社南葛SCは当社の持分法適用関連会社となる予定です。

(1) 出資の目的

当社は、ブランド品、貴金属、時計、地金、宝石及び骨董品、美術品などの買取、販売を主としたリユース事業に取り組んでおります。また、ミッションである「らしく、生きる。」の実現に向け、企業活動を通じて、様々な社会課題の解決に取り組んでいます。2020年9月からは「アスリートのためのデュアルキャリア採用」を行っており、引退後のキャリアや不安定な生活の悩みを解決することで、アスリートが競技も仕事も本気で取り組むことができる環境づくりを推進しております。

一方、株式会社南葛SCはクラブチーム等スポーツ団体の運営や管理を主力事業として展開しており、世界的に有名なサッカー漫画「キャプテン翼」の作者、高橋陽一氏が代表を務めております。「キャプテン翼」は今もなお多くの読者を魅了し続けており、そのテレビアニメは日本だけではなく世界各国でも広く放送され、高い認知を誇っています。同社は、サッカー・スポーツ文化の発展に寄与し、人々と「夢」、「希望」、「誇り」を共有できるクラブ運営を目指しており、2020年には売上高が100百万円を突破、同社が運営するサッカーチーム「南葛SC」が関東リーグ昇格を果たしました。

今回の出資により、当社は実際のスポーツチームの経営に携わることができ、現在行っているデュアルキャリア採用を促進し、スポーツを通じた地域づくりや文化形成に貢献するとともに、企業価値の向上に寄与していくと判断し、株式会社南葛SCへの出資を決議しました。

加えて、国内外で展開を加速している当社の仕入拡大や、オークションにおける新規パートナー拡大等、幅広い分野において「キャプテン翼」が持つ高い認知度と世界的な影響力を活用できると考えております。

(2) 出資の概要

① 名称	株式会社南葛SC		
② 所在地	東京都葛飾区立石六丁目18番20号		
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 高橋 陽一		
④ 主な事業内容	プロサッカーチームの運営		
⑤ 資本金	1,000万円		
⑥ 設立年月日	2019年1月25日		
⑦ 大株主及び持株比率	高橋 陽一 100%		
⑧ 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当社は、当該会社の間で協賛（パートナー）契約を締結しております。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑨ 当該会社の最近3会計年度の経営成績及び財政状態	(単位：千円)		
決算期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
純資産	—	8,356	13,104
総資産	—	35,557	55,357
1株当たり純資産	—	41	65
売上高	—	58,965	129,561
営業利益	—	△1,754	5,739
経常利益	—	△1,579	5,776
当期純利益	—	△1,643	4,748
1株当たり当期純利益	—	△8	23
1株当たり配当金	—	—	—

(注) 会社設立が2019年1月25日であり、2018年12月期は存在しないため記載しておりません。

(3) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

① 出資前所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)
② 取得株式数	101株 (議決権の数：101個) (議決権所有割合：33.5%)
③ 取得価額	株式会社南葛SCの普通株式 303百万円 アドバイザー費用等(概算額) 15百万円 合計(概算額) 318百万円
④ 出資後所有株式数	101株 (議決権の数：101個) (議決権所有割合：33.5%)
⑤ 増資後持分比率	高橋 陽一 66.5% バリュエンスホールディングス株式会社 33.5%

(4) 日程

① 取締役会議決日	2021年7月14日
② 契約締結日	2021年7月14日
③ 第三者割当の払込期日	2021年8月（予定）

(5) 今後の見通し

本件の持分法適用のみなし取得日は2021年8月末日を予定しております。また、当社の役員1名が株式会社南葛SCの役員に就任する予定です。本件が当社の2021年8月期の連結業績に与える影響は軽微ですが、今後「キャプテン翼」の高い認知度を活用することで、当社における買収事業拡大やオークションにおけるパートナー開拓の促進が期待でき、事業展開にも重要な役割を果たすと考えております。

なお、今後公表すべき事項が発生した場合は速やかに開示いたします。